

## コモンズからのお知らせ

### NPO法人「若者サポートステーションいばらき」設立記念大集会

1. 日 時：2006年7月9日(日) 13:30~16:30
  2. 場 所：茨城県南生涯学習センター(土浦駅前ウララビル)
  3. 対 象：青年の自立支援に関わる行政、企業、NPO関係者。  
引きこもりやニートに関心のある方。70名程度
  4. 参加費：無料
  5. 内 容：第一部 基調講演 茨城大学人文学部教授 伊藤哲司氏  
「ひきこもりやニートを生み出すこの社会の閉塞感  
・・・社会社会心理学の立場から」  
第二部 パネルトーク  
「改めて問い直す  
ひきこもりとは何か、社会的な関わりとは何か」  
コーディネーター 浅井 和幸氏  
パネラー 伊藤 哲司氏 熊野 正浩氏  
中原 恵人氏ほか
- 【主 催】NPO法人 若者サポートステーションいばらき  
T e&lFax 029-89-806  
照会、お問い合わせは、茨城NPOセンター・コモンズ  
T e: 029-00-431 Fax: 029-00-430

### 冒険遊び場が担っている子育て支援の活動について考える

- 日 時：7月1日(土) 13:30-16:30  
会 場：つくば市桜庁舎(つくば市金田1979) 玄関前集合  
内 容：ゴンタの丘見学、会議室にて懇談会、懇親会など  
参加費(資料代)：500円  
定 員：60名 事前にお申し込みください  
主催  
(特)日本冒険遊び場づくり協会 ht t: / p / w w w . p - j a p a o n g / a s o b i b a /  
03-540-1060 (te l& fax) E -a m l : e t y @ i p - j a p a o n g  
つくば遊ぼう広場の会 ht t: / p / a h i r b a h p i n o s e k e c a . j p /  
029-857-949 (te l& fax) E -a m l : o r b o k l @ c 5 . e -n e t . n e . j p

発行 特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ  
〒310-0063 水戸市五軒町2-23-102  
T E: 029-00-431 F A: 029-00-430  
U R: Lht t: / p / w w w . p c a m . n p o . o . g  
M A I L: n o @ n p c a m . n p o . o . g

つくばオフィス  
〒305-0022 つくば市吉瀬1876-1つくば文化郷別館202号  
水曜日のみ  
お越しの際は事前にご連絡下さい T e l a x F 029-857-000

50円引き  
クーポン券



### 団体会員一覧

- 水戸市かえるタウン交流の会  
NPO法人 水戸こどもの劇場  
NPO法人 ジュース  
ジョイスター株式会社  
NPO法人 茨城YMCA  
NPO法人 ひたち親子劇場  
ウルノ商事株式会社  
NPO法人 こすもす  
NPO法人 子ども劇場茨城  
NPO法人 コーアンドアイ  
NPO法人 いばらき介護福祉の会  
NPO法人 おおぞら  
NPO法人 日本医療救援機構  
NPO法人 自然生クラブ  
NPO法人 共楽館を考える集い  
NPO法人 リヴォルヴ学校教育研究所  
NPO法人 ワークスたんぼぼを支える会  
NPO法人 福祉支援団体ふれあいいなほ  
茨城県青年海外協力隊を育てる会  
NPO法人 アサザ基金  
NPO法人 茨城県精神障害地域ケア研究会  
NPO法人 ふじしろ福祉の会  
生活協同組合ハイコープ  
NPO法人 自立生活センター  
ライフサポート水戸  
有限会社 つくばインキュベーションラボ  
NPO法人 ビスターりさとみ会  
NPO法人 つくば環境フォーラム  
中央労働金庫  
NPO法人 取手市手をつなぐ育成会  
NPO法人 ままとーん  
NPO法人 環境市民クラブ  
スイミング・サークル・桜川  
NPO法人 ボランのひろば  
NPO法人 穴塚の自然と歴史の会  
NPO法人 来夢ハウス  
NPO法人 ゆりの会  
NPO法人 つくばクリエイティブ・リサイクル  
NPO法人 生活支援ネットワークこもれび  
NPO法人 ふるさと元気塾  
NPO法人 まちづくり市民会議  
NPO法人 にこにこサービス  
NPO法人 子どもの研究所  
NPO法人 水戸共に育つ会  
NPO法人 ニューライフカシマ21  
赤塚みなみ保育園  
社会福祉法人 コーアイ村  
NPO法人 筑波山環境クラブ  
NPO法人 いきいきネットワーク  
NPO法人 あすかコーアイネット  
NPO法人 いきいき・サポート  
有限会社 すのう商事  
ファミリーサポートしあわせ  
NPO法人 あゆみ  
NPO法人 並木会  
NPO法人 日本ダウン症ネットワーク  
日本労働組合総連合会 茨城県連合会  
NPO法人 ドリーム たんぼぼ  
NPO法人 N&N Corporation  
NPO法人 HSEリスク・シーキューブ  
東海村支部「NPOしーきゅうぶ東海村」  
NPO法人 エイエスピー  
NPO法人 福祉サポートセンター県西さわやか  
NPO法人 ナルク水戸  
NPO法人 あすなる会  
NPO法人 ウィラブ北茨城  
NPO法人 福祉会 ねこの手  
NPO法人 グリーンビュア  
NPO法人 結城まちづくり研究会  
NPO法人 まごころねっとわーく  
NPO法人 次世代教育センター

以上69団体(順不同)  
2006年6月1日現在

# COMMONS

「コモンズ」とは市民・企業・行政・市民団体などが自由に参加して情報を交換し  
新しい価値観を共有する場を意味しています

## NPO夢バンクと協働

5月27日(土)茨城大学で行われたコモンズ総会において、長野県NPOセンター常務理事の市川博美さんに市民活動とNPOバンク、公共サービスと協働をテーマに講演していただいた。

市川さんは松本市の収入役も兼ねており、行政側としていかに市民との合意形成を図るかなど、市民と行政のコーディネート役として活躍する現場での生の声を聞くことができた。  
(関連記事2、3ページ)



長野県NPOセンター常務理事  
(松本市収入役)  
市川 博美さん

## 帯刀代表理事2006年を語る

総会において帯刀代表理事は、2006年度のコモンズの活動について、7年前の結成当初目標としたNPO法人団体数300は達成できたが、認証後の活動は人材・情報・資金不足のため苦しい状況にあることを訴えた。  
また、2004年に提案したNPOバンド構想は研究段階から実践段階に移り、今年度中に活動を展開出来る見込みに

なったことを報告したが、運営方針や活動方向などさらに検討を必要とする事項もあることから慎重に進めて行くことを確認した。  
その他青年支援事業、NPOフォーラムをはじめとする自主事業の充実などを提案し、引き続き会員の支援と協力を呼びかけた。  
(関連記事6ページ)

定時総会開催される

### コンテンツ

- 1 表紙 NPOの人  
長野県NPOセンター常務理事  
(松本市収入役)  
市川 博美さん
- 2-3 特集  
市民活動とNPOバンク  
コラム
- 4-5 座談会  
指定管理者制度とNPO
- 6-7  
コモンズ総会開催
- 8 コモンズからのお知らせ  
とらい割引クーポン



茨城でNPOにとり組む人と、  
応援する人を増やす...  
それがコモンズの使命です。

第4号  
発行日 2006年6月20日  
発行者 茨城NPOセンター・コモンズ



帯刀代表理事

参加したコモンズ  
会員の皆さんから  
積極的な意見が出  
された



# 市民がつくるNPO夢バンク



NPOバンクとは何か、継続的・安定的に活動を展開していくためには、資金の調達が必要となる。NPOにとって重要な課題。

従来は、会費・寄付金・助成金・自主事業、委託事業をその主な財源としていたが、NPOや市民自身が立ち上げる金融の仕組みによる融資によって資金調達が可能になる。

さらにNPOバンクの場合は既存の金融機関に比べ金利が低く設定されており、物的担保がなくても融資を受けられる場合が多い。そして、融資のポイントとして、収益性や安全性よりも社会性にウェイトが置かれるのも特徴である。

ゼロからのスタート

長野県NPOセンター事務局長を務めていた市川博美さんが、そもそも「NPO夢バンク」（2003年12月2日設立）を思い立ったのは、市民活動団体が活動資金を捻出することの難しさを痛感したことから始まる。多くの地方銀行を回り低利子での融資を求めたが、

すべて門前払いだった。

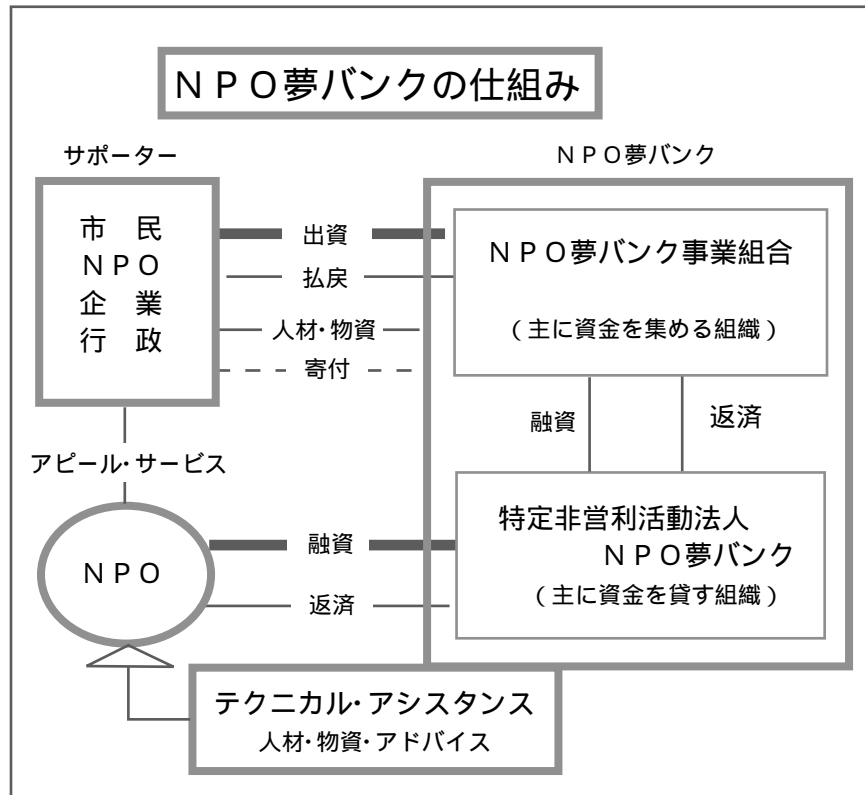
そこで、「北海道NPOバンク」の設立者の励ましもあり、この一大プロジェクトを具体的に思い描くようになった。しかし、北海道の場合とは多くの点で異なる条件でスタートすることになった。北海道の場合、寄付者からの原資金が500万円あった。

また、仕組みづくりの段階でも北海道庁の支援を受けることができた。その点、それらが無い長野県の場合、NPOバンクを作り出すための土壌は皆無に等しかったのである。しかし、会員向けのアンケートでバンクへの具体的なニーズがあがってきたことと、2度目のアンケートの結果集まった、NPOバンク設立を考える会の参加者から出された前向きな声が市川さんの思いを実現する後押しとなった。

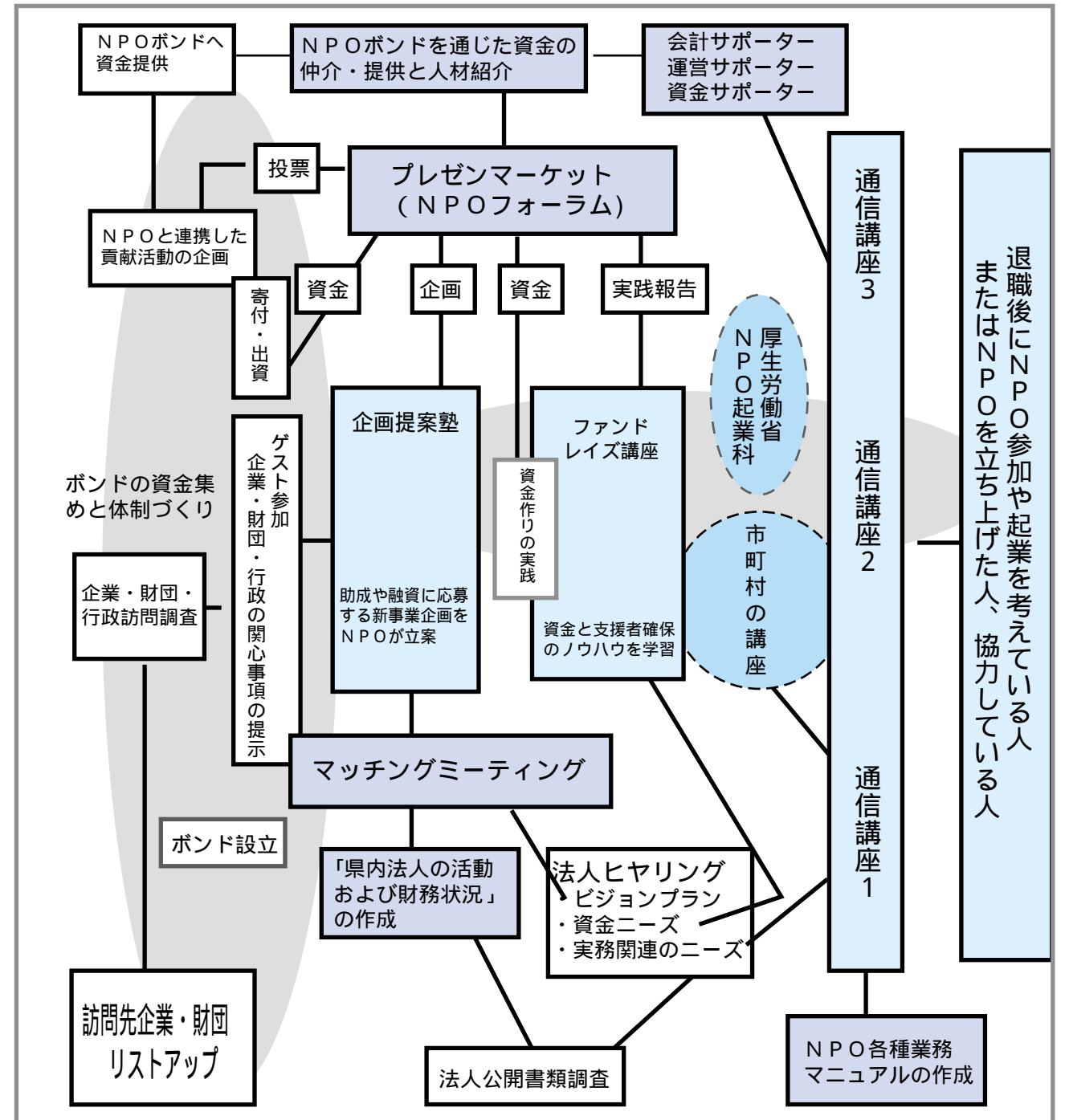
改めてお金の循環を考え直す

NPOバンク構想へと結びつく思いは、以前から、ある問題意識として市川さんのなかには存在していた。

それは、お金の循環の問題についてである。税金や、銀行や郵便局に預けた預金がどのように運用されているのか、多くの市民にとって不透明な部分も多い。はたして、豊かな社会創造のために使われているのか？NPOバンクの場



# NPOの事業プランと地域の資金・人材をつなぐ仕組み



**用語解説**  
 NPOボンド  
 2ページの長野NPO夢バンクの茨城版  
 マatchingミーティング  
 企業、組合、財団とNPOがおたがいを知り合う場  
 プレゼンマーケット  
 NPOの企画を評価し資金提供者とマッチングを促す機会  
 ファンドレイズ講座  
 市民団体などの自主財源をつくる方法を学ぶ講座

<野菜たっぷり手作りおふくろの味> コミュニティレストラン

## 50円引きクーポン

有効期限 7月末日

1枚でお一人さま有効  
 営業時間 午前11時30分～午後2時（夜間は予約のみ）  
 休業日 土・日・祝  
 弁 当 火・木（注文受付は前日の12時まで）  
 それ以外もご相談に応じます。  
 駐車場あり

【とらい】は青年のための社会体験の場を提供しています。



# 指定管理者制度とNPO

NPOが指定管理者として選ばれるか注目されている中、県内ですでに指定管理者として活動を始めている方々との座談会を開催した。

選考経過や行政直営との差別化、今後の抱負などをうかがった。  
今後、指定管理者を目指すNPOにとって参考になるお話の概要をお伝えする。  
(座談会の詳細は、常陽ARC7月号に掲載予定)

うしく里山の会



代表理事  
坂 弘毅さん  
Saka Kouki

日本スポーツ振興協会



事務局長  
沼尻 克枝さん  
Numaji Rika

インパクト



業務課 課長  
相原 正夫さん  
Aihara Masao

横田 今春、指定管理者に選ばれた皆さんは、本県のモデルケースになるわけ

ですが、選定にいたる経過と何を「売り」にしていくのかをお聞かせ下さい。

## 指定管理者に選定された経過

坂 「牛久自然観察の森」は、環境庁が実施した事業により整備された森で、牛久市が管理しています。1990年に「牛久自然観察の森」が開園した当時から山の環境保全が好きな方々がボランティアとして活動してきました。2005年4月から1年間、ソフト面の管理を受託し、自然観察のお手伝いを行ってきました。

そのような中、指定管理者の話が出て、昨年末に公募がありましたので応募し選定されました。

沼尻 日本スポーツ振興協会は、「子供たちに夢を与える」ことを目的に、様々なスポーツを地域で教えるボラン

ティア活動を行っていました。

水戸市の「東町運動公園」は、茨城県が管理している総合スポーツ施設で、昨年の指定管理者公募で選定され、今年の4月から管理しています。

相原 インパクトは、まちづくりをテーマに日立市移動図書館の運営、企業のOB人材マッチング事業、県北のPTA連絡協議会や日立市のPTA連合会の事務局運営などを行っています。

「県北生涯学習センター」は、日立市に新設される茨城県の施設で、今年2月の指定管理者公募で選定されました。8月の開所に向け現在は準備段階です。

## 公募のプレゼンテーションで強調したことは？

坂 以前から私たち会員が牛久自然観察の森で、野草の保全や標識の設置などの細かいボランティア活動を行っていました。プレゼンの時にはその実績を強調し、評価していただいたと思います。また、専門家に近い方々がボランティアをやっていましたから、我々がいなくなったら、職員だけではやり遂げられないという危機感も強調しました。

地元の農家と手を携えた、森の朝市や観察の森の会報の体裁や内容一新など、民間ならではのサービスを心がけています。

沼尻 私どもでどんな社会的価値を生み出せるかを強調しました。新規事業を増やし、地域の農協との連携なども企画に入れました。これまでの地道な努力と姿勢、実績が評価されたと聞いています。

また、営利に偏ってお金を儲けようと思えばできますが、それをやってしまうと民業圧迫になります。実績とマンパワーを活かし、サービスの質を上げるところを一番のポイントとしてプレゼンしました。

相原 我々のうたい文句は、NPO団体の特長を生かしたボランティアの活用です。職員とボランティアが一体となって運営していくことと、運営の効率化による経費の削減を強調しました。

## 行政とのやりとりで印象深い点は？

坂 協定書の原案は行政側が作成しますが、従来とほとんど変わらずプラスアルファで我々の改善要望が追加になったただけなので、協定書は問題なく受け入れられました。

相原 相談業務など仕様書から漏れている項目にあとから予算をつけな

ければならないということもありました。

沼尻 看板で広告収入を得ようとしたら公園法で規制されることを知りました。今後、施設の修繕費がどれ位かかるかが気になりなところ

## 実績評価はどんなもの？

沼尻 単年度で実施します。

坂 毎年行い1年ごとの契約更新です。指定管理期間は5年ですが、実績によっては、指定が解除される可能性はあります。

相原 指定解除については、協定書にうたわれていますが、ただ指定解

除はよほど実績がひどいときです。

それでも1年目はともかく2年目、3年目は成果を出さなければなりません。

坂 評価のメンバーは、行政内部で実施し利用者の評価はありません。

## 公共施設の利用者が一緒に施設を「創る」

坂 利用者に対してNPOが表面に出るのではなく、観察の森として表面に出ることで、来園者も大分増え、イベント数も増えました。利用者との距離感は縮まっていると思います。

沼尻 私どもは一番そこを重要に思っ、職員採用はコミュニケーション能力の高さを重要視しています。ちょっとしたご意見は頂きますが、

それをどう処理するかで、ファンになってくれるかどうか決まりますので、大切に対処しています。プロとしての意識が重要だと考えています。

相原 我々の場合、サービス業という意識を持たなければならないので、CS向上委員会や受講者アンケートなどでサービス向上に徹していく考えです。

横田 NPOが期待されている点を十分に意識して取り組んでいただくことで、「指定管理者」としてのNPOの価値は高まっていますし、今後も指

定管理者に選定されるNPOが増加していくと思います。  
本日は、どうもありがとうございました。



# 2006年度 定時総会

2006年度、コモンズの定時総会が5月27日開催された。その中で、2005年度事業については、団塊世代向けNPO紹介事業、NPOのネットワーク化による地域課題への取組み、ボンドやNPOの信頼性向上に関する研究、活動エリアの拡大などで成果

があったとの報告がなされた。そして2006年度は、次のような方針と達成目標の下、NPOボンドの立ち上げ、2年間で3,000万円の資金づくり、NPOの新規事業企画に資金や人材を結びつけるマッチング事業に取り組む事業計画案等が決定された。

## 1. 上半期にNPO意向調査の実施

- ・資金状況や事業報告などから判断して抽出した約50団体にヒアリングを行う。
- ・資金や人材に関する悩み、融資や助成に関する要望、協働事業のアイデアを伺う。
- ・ニーズに応じ、仲介市場や企画提案塾、ファンドレイズ講座、通信講座への参加を呼びかけ各事業の参加登録団体を確保する。

## 2. NPOボンドの立ち上げ、出資・寄付を集める仕組みの稼働

- ・夏までに資金仲介を行うNPO法人茨城NPOボンドとNPOボンド事業組合を法人化。
- ・1で把握したNPOの提案や資金ニーズを伝え社会貢献に参加したい企業、組合、市民にサポーター登録を求め、NPOとボンドのための資金を集める。
- ・ファンドレイズ講座参加団体による資金拡大キャンペーンの実施。

## 達成目標

## 3. 企画提案塾、プレゼンマーケットの実施

- ・企画提案塾をシリーズで開催し、その成果をNPOフォーラムにおいて企業、財団、自治体、市民の前でプレゼン。サポーターとボンドへの資金協力者による投票を行い、NPOと企業、労働組合などとのマッチングを実施する。
- ・設立間もないNPOやNPO起業予定者向けに、法人設立、運営、会計に関する実務をマスターするための通信講座を行い、テキストや書類テンプレートの販売を行う。

## 4. とらいスペース事業のリニューアルと自立

- ・若者サポートステーションいばらきと連携して、青年の就労体験の受け皿や機会を開拓し青年の地域参加をサポートするスタッフを確保する。
- ・新たなスタッフと青年自身の協力を得てとらいスペースの継続または独立を目指す。

というふうに、必然的にその用途は明確になる。これは公開性・公益性が原則であるNPOへの融資システムだからこそ可能になるのだという。

このことを通して、改めて市民が自身のお金の役割と存在意義を問い直す大きなきっかけになってくれればと市川さんは考える。収入役として行政の税金の出し入れに関わるようになって、このことの意義をさらに深く感じるようになったとも市川さんは話している。

人の繋がりがNPOバンクを支える

「NPO夢バンク」は多くの専門家の協力によって設立され、現在も成り立っていると市川さんは話す。例えば、設立前にノンバンクの相次ぐ不祥事によって金融法が改正され、申請手続きが難しくなった。そこで、多くの専門家に協力を要請することになり、司法書士や経済アナリストなどそうそうたるメンバーが協力を申し出た。

「NPO夢バンク」の原資は約2500万、そのうち1000万円は長野県からの貸付であるが、残りは労働組合組織、個人投資家等

の出資・賛同によるものである。残念ながら実際のNPO関係者からの出資は比率としてはまだ少ない。

現段階では人件費を捻出することが難しく、バンクの実務面を担うスタッフ（夢バンクの理事長や他団体の理事長）はボランティアである。

融資先との関係であるが、以前から事業内容を知っている、コンサルティングを介する等、人と人との関係を築いているために、焦げ付きなどはまだ1件も発生していないという。

## 市川 博美 さん プロフィール



15年の教員生活を経て上越教育大学大学院信州大学大学院において「学校と地域のソーシャルネットワーク」を研究。修士号。草の根国際交流を考える会を設立したのに続き県内のNGO、市民活動団体のリーダー達とともに長野県NPOセンターを設立。99年に法人化。特定非営利活動法人長野県NPOセンターでは、98年9月に理事・事務局長に就任。県内を中心としてNPOや市民活動のコンサルティング人材育成等の活動に取り組む。現在は松本市の収入役に就任。同センターでは理事を務める。

## NPO夢バンク融資条件

- 期間：3年以内
- 金利：固定年2%以上から3%以下
- 対象：長野県内に主たる事務所を置く非営利組織
- 使途：立ち上げ資金（設備資金を含む）、運転資金
- 保証人：連帯保証人として、代表者と他1名の合計2名が基本
- 返済：元金等毎月返済、元金均等毎月返済、期日一括返済期間1年のみ）元金のみ6ヶ月まで据え置き可
- 上限：300万円（立ち上げ資金は、原則100万円以内）

## コラム 人から人へ

「喜びはわかちあうもの」

40年余りの教職生活から社会活動へ転換して10数年、自分のゴールを見つけたような気がする。

負けず嫌いで好奇心の旺盛な生来の性格で一生懸命に生きてきたが、いつでもどこでも誰かの役に立ちたいと願い、喜びを分かち合えた時の感動が自分の「挑戦」の原動力となってきた。漢字の不得意な小学生の女の子に、漢字を毎日10題ずつ練習するように指導して、漢字だけはクラス他の子に負けなくなった時の喜びは今でも忘れられない。

NPOにとって社会貢献は「地域づくり」であるから、行政と共に計画立案をし、実現に向けて協働することが大切だと思う。市民サイドが自主的に提言することが前提である。

退職後、何をしたいかわからない男性が多く、まして社会参加することが難しいようであるが、仲間作りから始めるときつかけができると思う。

自分の幸せを自分だけのものにしなくて、周りの人々と分かち合うとき、人はさらに喜びが大きくなる。子どもや孫たちと分かち合いたい。

NPO法人「ねこのて」 岡田一枝



参加した会員の皆さん



コモンズ事務局スタッフ  
左から横田事務局長  
朝川副代表  
須能事務局員